

令和7年度 新蟹江小学校 学校評価まとめ

1 はじめに

本年度も12月に、児童・保護者・教職員を対象に、学校評価アンケートを行った。各回答は、全ての項目で肯定的な評価の割合が否定的な評価よりも高くなっており、よい傾向が見られた。この結果は、保護者・生徒・教員が一体となって歩み続けてきた証であると考えられる。その中でも低い評価項目を見過ごさず、課題と手立てを明確にして、次年度につなげたい。

2 成果と課題

※数字は【別紙】数字と対応

(成果)

・ 質問項目①

①「教室や学校を整頓し、安全できれいにしている」(児童)については、児童・保護者・教職員ともに肯定的な評価の割合が約90%と高く、安全で整った環境づくりができていているといえる。

・ 質問項目②③

②「学校へ来るのが楽しい」(児童)・③「授業は楽しく、分かりやすい」(児童)については、昨年度に比べて評価が高くなり、教職員の努力の表れといえる。否定的な評価の13%の児童にとって楽しい場となるよう、教職員の指導力をさらに向上させ、授業の充実を核として、安心・安心な学級づくりに、学校全体で取り組みたい。

・ 質問項目⑩⑪⑫

⑩「当番や係活動、清掃活動をしっかりとやっている」(児童)、⑪「学校のきまりや約束事をよく守っている」(児童)では、ほとんどの児童が、しっかりと行うことができたと評価している。また、⑫「友達と協力して何かをすることは楽しい」(児童)の項目では、友達と協力して学習や生活ができた児童が多いことが分かる。⑩⑪⑫の教職員の評価も高く、教職員の働きかけを素直に児童が受け取め、実践しているといえる。

(課題)

・ 質問項目④

④「朝読書の時間や休み時間に、進んで読書をしている」(児童)については、児童・保護者の肯定的な評価が低い。本校では、朝読書の時間を確保しているが、この時間しか本と触れ合わない児童もいるので、朝読書の時間は来年度も継続させたい。それに伴い、国語学習を充実させたい。読み取る力を高めながら、読み物に興味をもたせたり、図書を使用した学習のよさに気付かせたりする必要性を全職員で共通理解し、取り組みたい。

・ 質問項目⑥

⑥「タブレット端末を使って、調べ学習(web検索)、まとめ学習(文書作成)・発表(プレゼンテーション)などを行っている」(児童)では、教職員の肯定的な評価が低い。タブレット端末を使用することが目的ではないが、タブレット端末を学習ツールの有効な一つとして、いつでも活用できるように、教職員の研鑽に励みたい。

- ・ 質問項目⑦

⑦「何か困ったことや悩みごとがあったときには先生に相談している」(児童)では、保護者・教職員の肯定的な回答と比較すると、約 20%の大きな差が見られた。先生ではなく保護者や友達に相談して解決している場合や、先生からの事前の働きかけで解決している場合もあると考えられる。また、前述の②「学校へ来るのが楽しい」・③「授業は楽しく、分かりやすい」の肯定的な評価が高いことから、教育相談等を継続しながら、教職員が相談しやすい身近な存在であるよう今後も努めたい。

- ・ 質問項目⑨

⑨「友達や先生や地域の人に進んであいさつをしている」(児童)では、児童・教職員ともに肯定的な評価が高い。しかし、保護者アンケートの中では、「挨拶が返ってこない」というご意見もあり、いつも元気に挨拶をする児童と、しない児童と二極化している。校内だけでなく、学校外でも積極的にあいさつする児童となるよう、これまで同様、教職員・保護者・地域の働きかけを行い、あいさつの習慣を広げたい。

3 おわりに

学校評価の分析より、次年度の方向性が把握できた。成果と課題を全教職員で真摯に受け止め、具体的な手立てを考え、実行に移していきたい。

子どもたちの健やかな成長のために、今後も保護者の皆様としっかりと連携し、同じ方向を向いて教育活動を進めていきたい。子ども・保護者・教職員の笑顔あふれる新蟹江小学校を目指し、一人一人がよさを発揮できる充実した教育活動を展開したい。